クボタ管理機

取扱説明書

TMA4

J-2832

ご使用前に必ずお読みください
いつまでも大切に保管してください

操作装置のシンボルマーク

運転操作及び保守管理のために，操作装置のシンボルマークが使用されています。シンボルマークの意味は下記のとおりですので良く理解して戴き誤操作のないようご注意ください。

ガソリン給油

チョークレバー

専門用語の説明

STOP ························ エンジン**“停止”**

N ······························ 変速位置**“中立”**

PTO ························ 動力取出軸

は じ め に

このたびはクボタ製品をお買上げいただきましてありがとうございました。
この取扱説明書は製品の正しい取扱い方法，簡単な点検および手入れについて説明しています。ご使用前によくお読みいただいて十分理解され，お買上げの製品が優れた性能を発揮し，かつ安全で快適な作業をするためこの冊子をご活用ください。また，お読みになった後必ず大切に保存し，分からないことがあったときには取出してお読みください。なお，製品の仕様変更などにより，お買上げの製品とこの説明書の内容が一致しない場合がありますので，あらかじめご了承ください。

⚠ 安 全 第 一

本書に記載した注意事項や機械に貼られた⚠の表示があるラベルは，人身事故の危険が考えられる重要な項目です。よく読んで必ず守ってください。
なお，⚠表示ラベルが汚損したり，はがれた場合はお買上げいただいた購入先に注文し，必ず所定の位置に貼ってください。

LK121-6512-1

■注意表示について

本取扱説明書では，特に重要と考えられる取扱い上の注意事項について，次のように表示しています。

⚠ **警 告**：　注意事項を守らないと，死亡または重傷を負う危険性があるものを示します。

⚠ **注 意**：　注意事項を守らないと，けがを負うおそれのあるものを示します。

重 要：　注意事項を守らないと，機械の損傷や故障のおそれのあるものを示します。

補 足：　その他，使用上役立つ補足説明を示します。

本製品の使用目的について

本製品は，農業機械であり，農作業以外では使ってはいけません。
夜間作業はしないでください。

目　次

⚠安全に作業するために ………………………… ⚠-1

サービスと保証について………………………………… 1

1. もうおぼえられましたか？ ● 各部の名称と装置の取扱い

各部の名称と装置の取扱い …………… 2

2. 作業前にこれだけチェック ● 作業前の点検について

作業前の点検について ………………… 4
●調子良く作業するために …………… 4
●安全に作業するために ……………… 5

3. このように運転します ● 上手な運転のしかた

ならし運転(最初の10時間程度使用まで)…… 6
エンジンの始動のしかた ……………… 6
停止のしかた ………………………… 7
発進のしかた ………………………… 8
エアークリーナの調節 ……………… 8
ハンドル高さの調節 ………………… 8

4. こんなときどうする？ ● 管理機の簡単な手入れと処置

エンジンオイルの交換 ……………… 9
ミッションオイルの交換 …………… 9
エアークリーナエレメントの清掃とオイル交換 … 10
燃料パイプの交換 …………………… 10
燃料フィルタの清掃 ………………… 10
点火プラグの調整・清掃・交換 ……… 11
主クラッチケーブルの調節 …………… 11
新しいベルトに交換する場合 ………… 12
操向クラッチケーブルの調節 ………… 12
タイヤの空気圧 ……………………… 12
ロータリ後進けん制装置の点検・調節
（アタッチメント採用） ……………… 13
洗車時の注意 ………………………… 13

5. 作業が終ったら

使用後の手入れ ……………………… 14
エンジン始動不良を防ぐために ……… 14
保管 ………………………………… 14
燃料の抜取り ………………………… 14

6. 管理機を運搬するとき

自動車(トラック)への積込み，運搬 … 15

7. 付　記 ● 主要諸元・車軸回転数一覧表・標準付属品・主な消耗部品一覧表

主要諸元 …………………………… 16
車軸回転数一覧表 …………………… 16
標準付属品 ………………………… 16
主な消耗部品一覧表 ………………… 17

8. トラブルと処置

エンジンが始動しないとき …………… 18
エンジンの回転が上がらない，不安定，
出力が不足する ……………………… 18
エンジンが振れる，異音が発生する … 18

⚠ 安全に作業するために

必ず読んでください。

本機をご使用になる前に，必ずこの『取扱説明書』をよく読み理解した上で，安全な作業をしてください。安全に作業していただくため，ぜひ守っていただきたい注意事項は下記の通りですが，これ以外にも，本文の中で⚠警告・⚠注意・重要・補足としてそのつど取上げています。

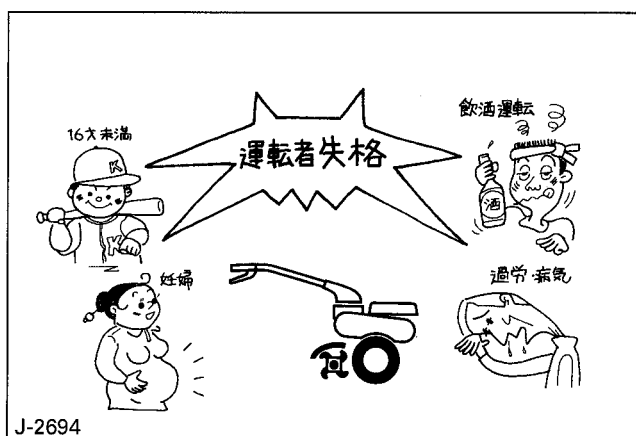
1．運転する前に

■使用する人は

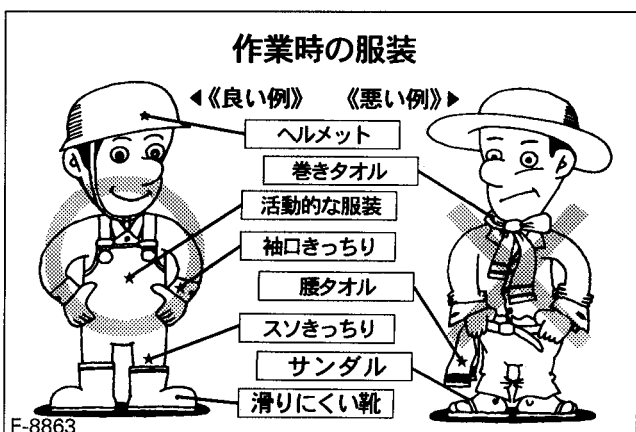
機械の運転操作，特に主クラッチ**"切"**はすばやくできるよう，よく練習し，十分に慣れてから作業してください。

次の項目に該当する場合は，機械を使用しないでください。

＊本書及びラベルの内容が理解できない人
＊視力不足等のため表示内容が読めない人
＊飲酒時や体調が悪いとき，また妊娠中の人
＊16才未満の人
＊ハンドルを操縦する体力に自信のない方

J-2694

■使用する人の服装は

＊回転部分や操縦装置にひっかかり事故の原因になる，だぶついた服，腰タオルなどはやめてください。
＊ヘルメット，安全靴，保護メガネや手袋などを必要により着用してください。

F-8863

■周囲への注意

＊子供，ペットを近づけないでください。
＊見物人を近くに寄せないでください。
＊共同作業者がいるときは，互いに注意してください。

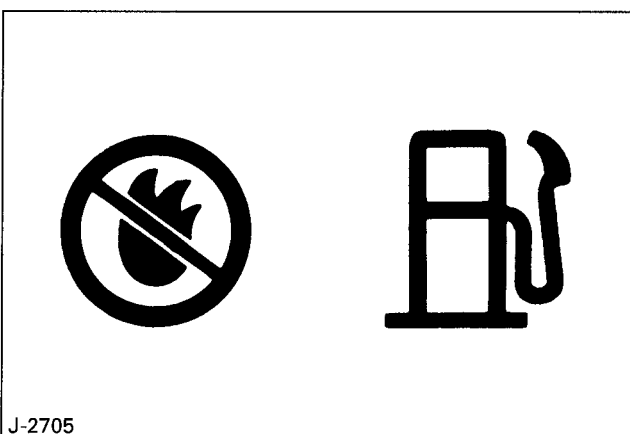
■他人に貸すときは

＊事前に運転のしかたを教え，**"取扱説明書"**を必ず読んでもらってください。

F-8822

■給油・注油するとき【火気厳禁】

＊燃料の給油・各部への注油時は必ずエンジンを停止し，規定量以上入れないでください。
＊エンジン回転中やエンジンが熱い間は火災のおそれがあるので給油はしないでください。
＊煙草を吸ったり火気を近づけないでください。
＊こぼれた燃料はふき取ってください。

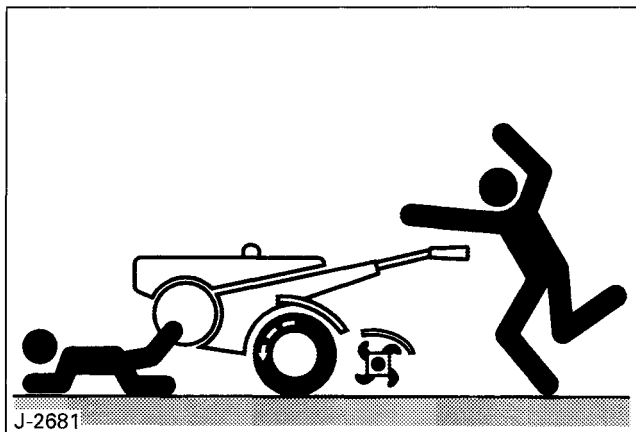
J-2705

安全に作業するために

2．始動するとき

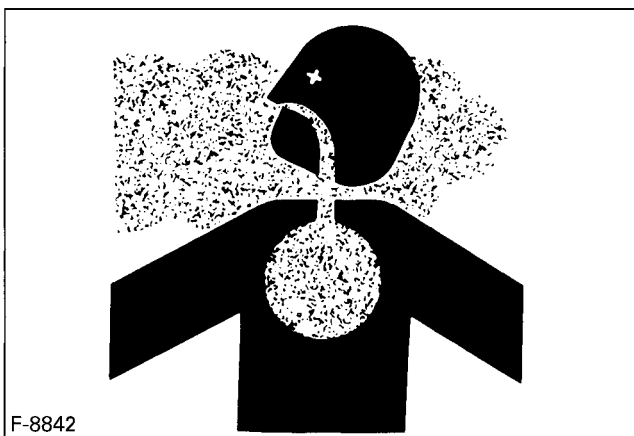
■エンジンを回すとき

＊必ず本機，ロータリ(作業機)の主クラッチレバーを**“切”**変速レバーは**“中立”**にして，付近に人(特に子供)を近づけないでください。

＊もし主クラッチや変速が入っていると車体や爪軸が急に動いて事故になるおそれがあります。

J-2681

■排気ガスに注意

排気ガスによる一酸化炭素中毒のおそれがあるので，換気の悪い所(ハウス，車庫等)では使用しないでください。

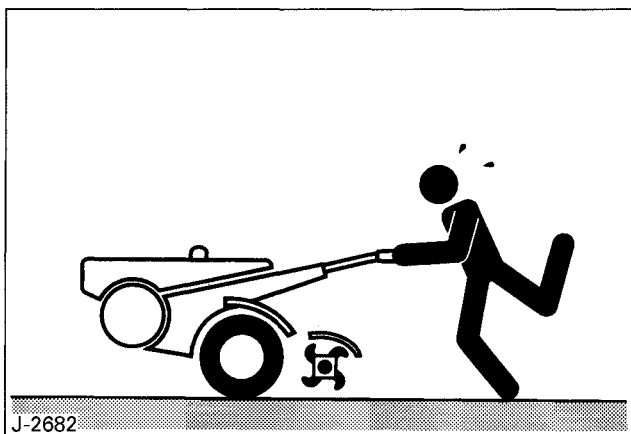
F-8842

3．移動，作業するとき

■発進するとき

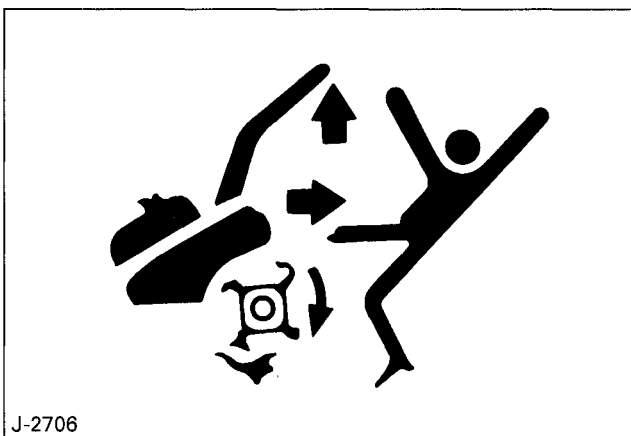
＊速い速度での走行は充分注意してください。

＊車速の最低速で主クラッチレバーの**“入”**はゆっくり，**“切”**はすばやくの操作を習熟した上で使用してください。

＊小走りになるようなスピードを出したり，急発進，急旋回はしないでください。

J-2682

■ロータ装着時後進は禁止

＊ハンドルが跳上がり回転する爪に巻込まれるおそれがあるので**“後進”**に変速しないでください。

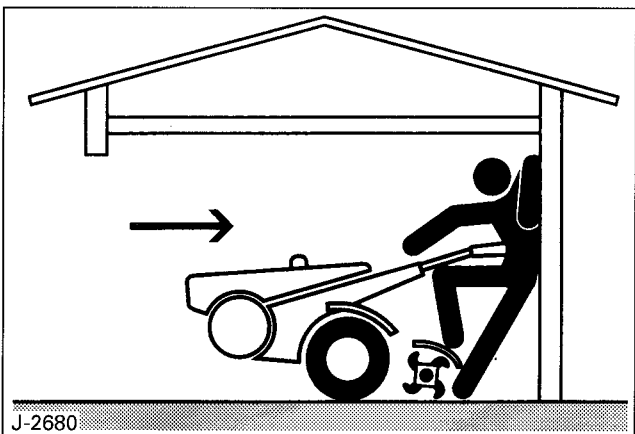
J-2706

■移動するとき

＊移動の際は，必ずロータリの回転を止めてください。

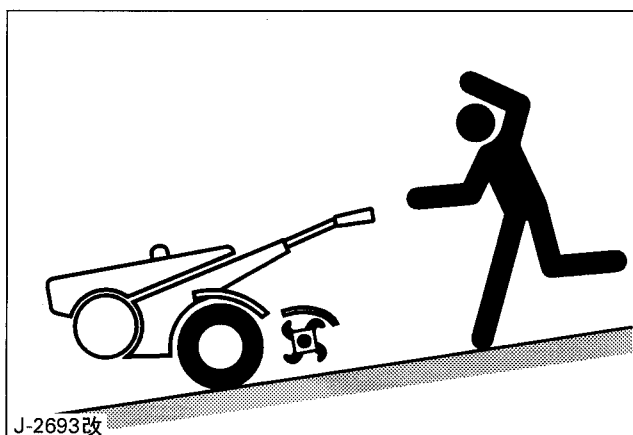
J-2708

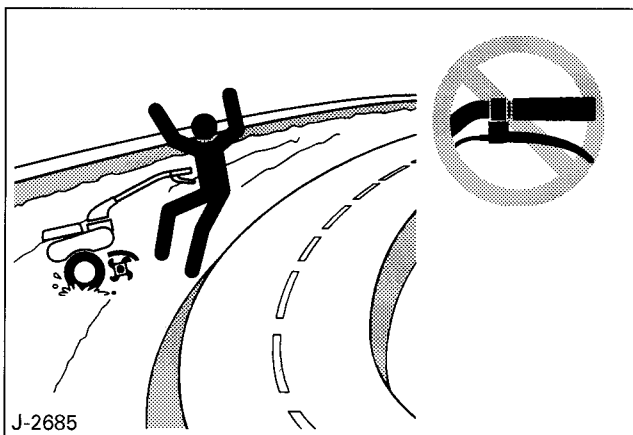
■ハウス，車庫等での移動

＊後方の壁，支柱，天井など障害物にはさまれるおそれがあるので遅い車速で後進してください。

J-2680

■坂道を移動するとき

＊坂道，ほ場の出入り，畦の乗越え等の途中で主クラッチを **“切”** ったり，変速を **“中立”** にすると，機体が思わぬ方向に進み危険です。
＊変速操作は，平坦な場所以外では行なわないでください。
＊坂道や凹凸，カーブの多い路上で高速運転すると，転倒したりして危険ですから必ず低速運転してください。

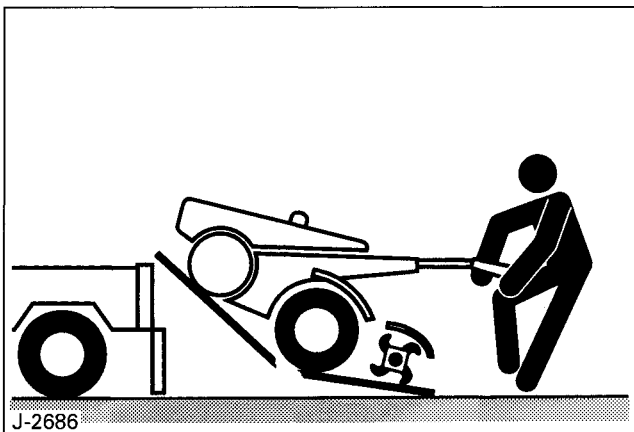
J-2693改

＊坂道で操向クラッチを操作すると，思わぬ方向に曲がり転倒のおそれがありますので，必ずハンドル操作で方向転換してください。

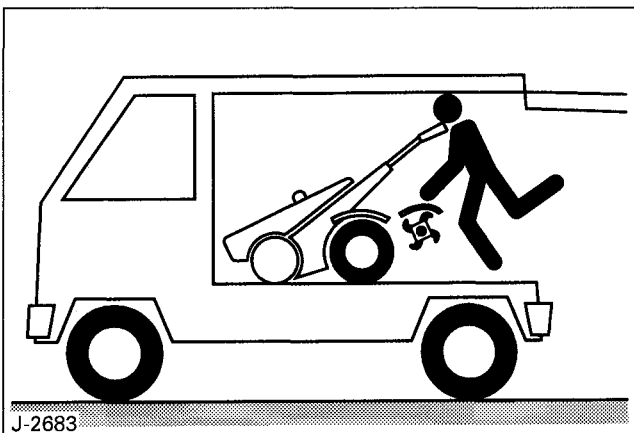
J-2685

安全に作業するために

■積降ろしするとき

＊アユミ板は丈夫ですべり止めのあるものを使用し，確実に固定してください。

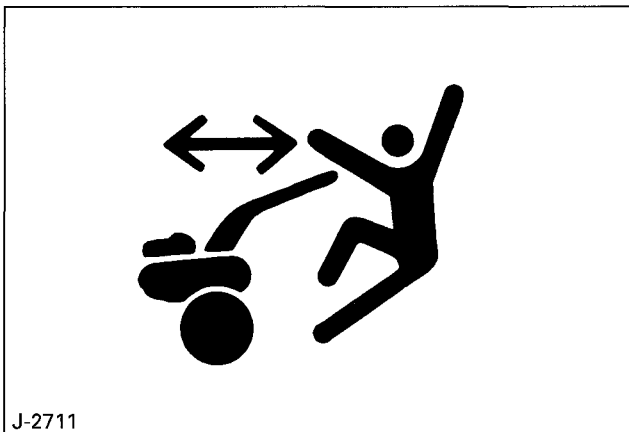
＊足元に注意し，車速は最低速で，上りは**“前進”**下りは**“後進”**で行ない，途中で主クラッチや，操向クラッチを切ったり，変速操作をしないでください。

J-2686

＊車などで運搬するときは，必ず荷台に天井がない車を使用してください。

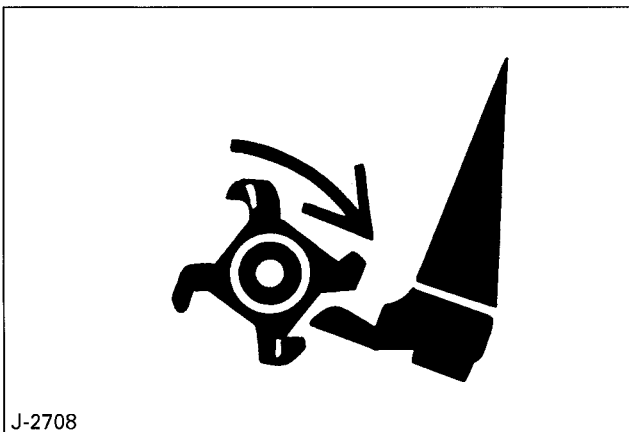
J-2683

■耕うん作業するとき

＊車軸（ロータ），爪軸（ロータリ）作業開始時や作業中，機体が思わぬ方向に飛出し転倒や人身事故のおそれがありますので，いつでも主クラッチが**“切”**れる姿勢で運転してください。

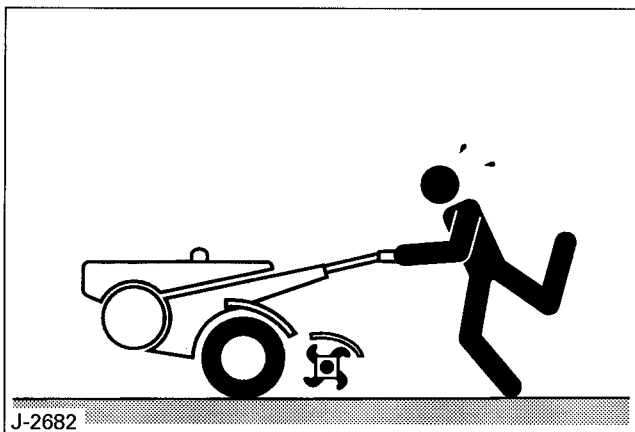
＊作業前に，ほ場の状態をよく確認して，石・材木・針金・空カン・空ビン等を取除いてください。

J-2711

■回転している爪に注意

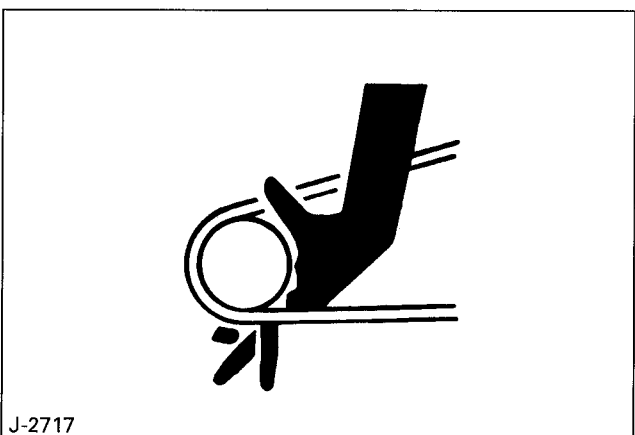
＊ハンドル部を持上げ旋回するとき，足元及び周囲に十分注意しないと回転する爪に巻込まれるおそれがあります。

J-2708

■ほ場が硬いとき

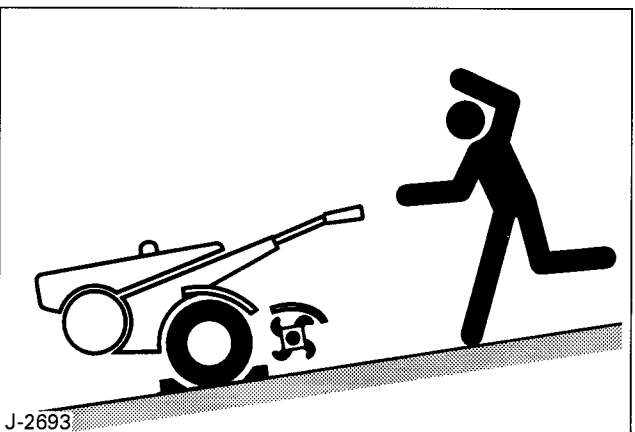
＊硬いほ場では車速を遅いめにして，耕深も浅いめで作業を行なってください。

J-2682

■PTO軸を使用するとき

＊回転物に巻込まれるおそれがあるので，まわりにカバーや囲いをしてください。
＊使用しないときはカバーを組付けてください。

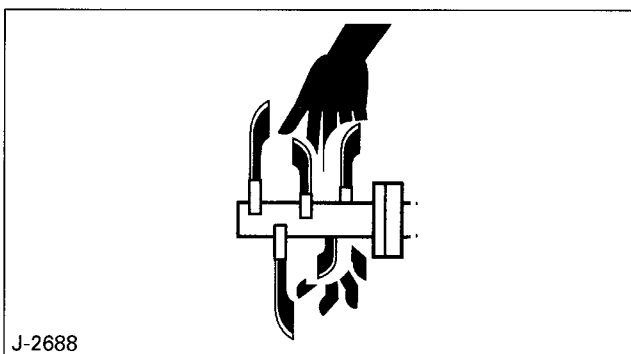
J-2717

■機械から離れるとき

＊エンジンは必ず停止させ，駐車ブレーキをかけて平坦で安定した場所に駐車します。やむなく傾斜地に止めるときは車止めをしてください。

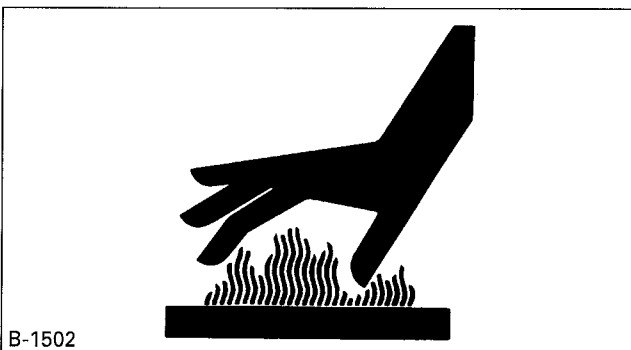
J-2693

4．作業が終わったとき

■掃除をするとき

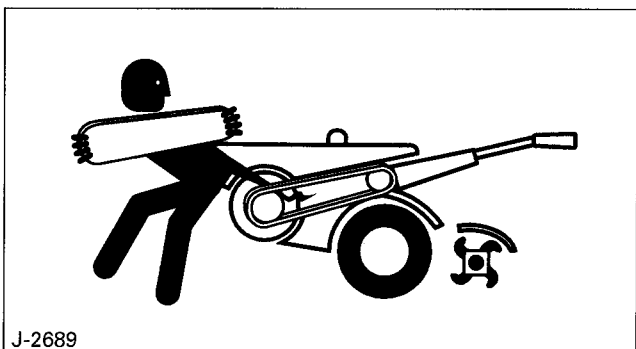
＊車軸（ロータ）爪軸（ロータリ）等に巻付いた草，ワラ，泥土等を取除くときは，巻込まれるおそれがあるので，必ずエンジンを停止してください。

J-2688

5．点検，整備をするとき

＊点検，整備，アタッチメントの脱着などは，機械が転倒しない平坦な所にスタンドを立てエンジンを止め，高温部が冷めてから行なってください。

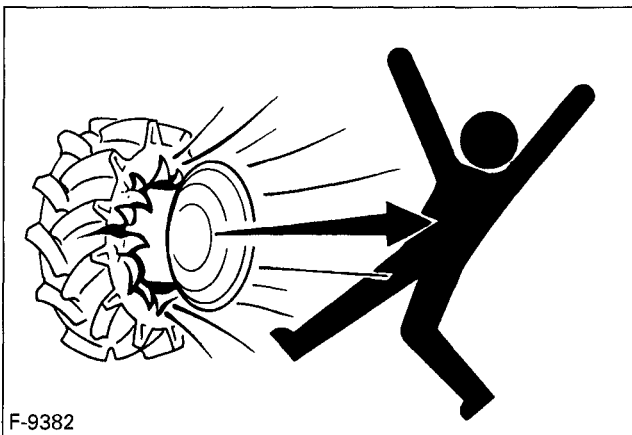
B-1502

■カバー類は必ずつける

＊ベルトカバー，PTO軸カバーなどの防護カバーを取外すときは，巻込まれるおそれがあるので，必ずエンジンを停止してください。
＊取外したカバー類は元通り組付けてください。

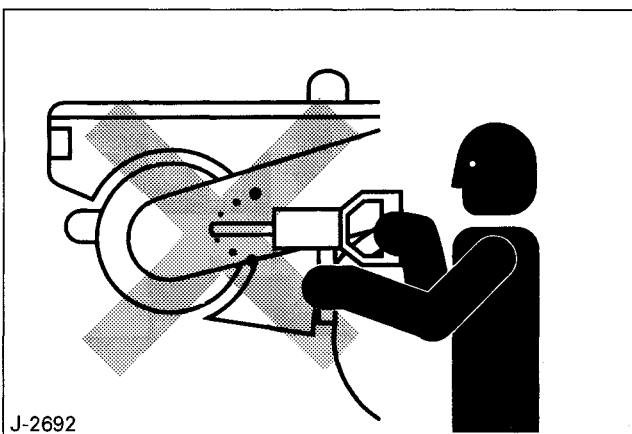
J-2689

安全に作業するために

■タイヤの整備

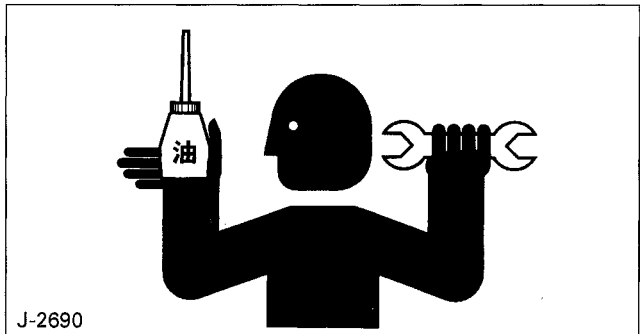
* タイヤの空気圧は，取扱説明書に記載している規定圧力を，必ず守ってください。
* 空気の入れ過ぎは，タイヤ破裂のおそれがあり，死傷事故を引き起こす原因になります。
* タイヤに傷があり，その傷がコード（糸）に達している場合は，使用しないでください。タイヤ破裂のおそれがあります。
* タイヤ，チューブ，リムなどの交換，修理は，必ず購入先にご相談ください。（特別教育を受けた人が行なうように，法で決められています。）

F-9382

■機械の改造禁止

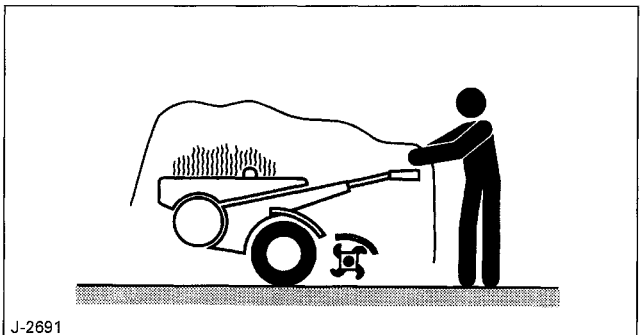
* 機械を改造しないでください。改造すると機能に影響を及ぼすばかりか人身事故にもつながるおそれがあります。

J-2692

■1年毎の定期点検を

* 機械の整備不良による傷害事故などを未然に防止するため，1年毎に定期点検・整備を受け，特に燃料パイプは，2年毎に交換して安全に作業できるようにしてください。

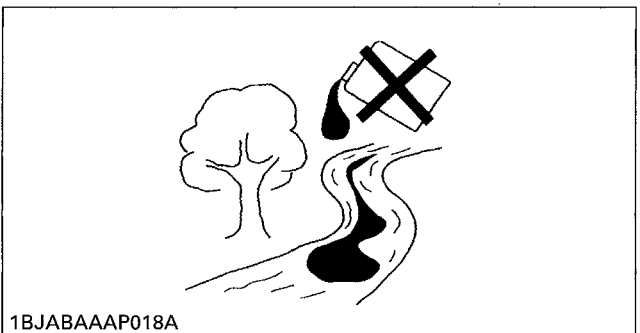
J-2690

■格納するとき

* 機体に保管用カバーをかけるときは，火災予防のため高温部が冷めてから行なってください。

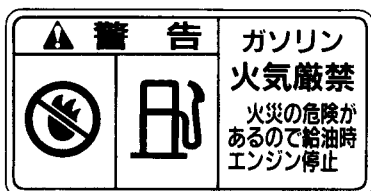
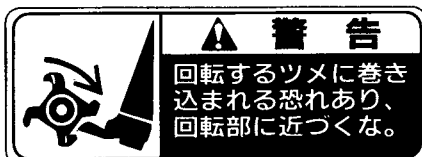
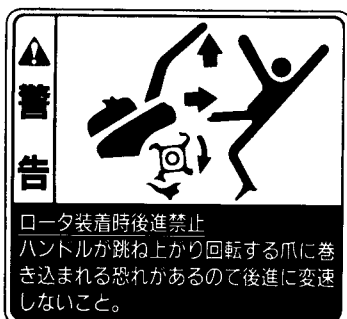
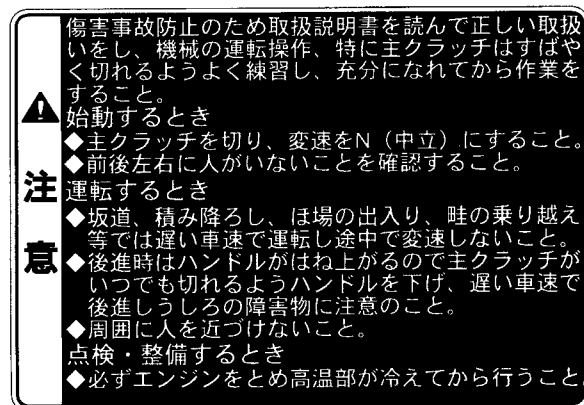
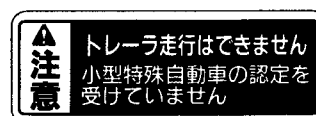
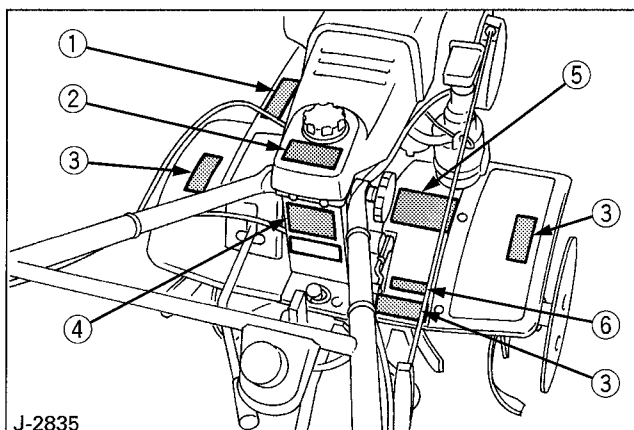
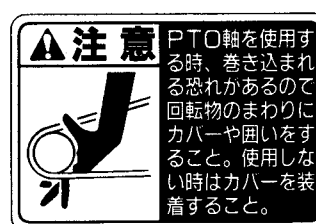
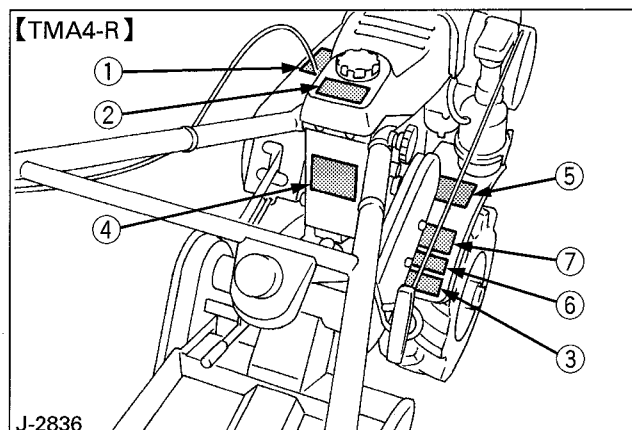
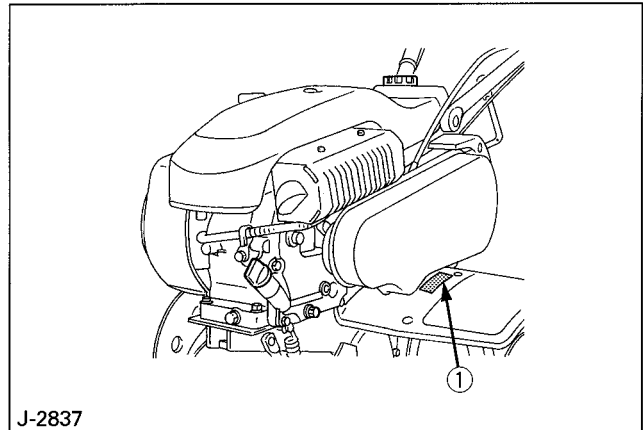
J-2691

■廃棄物の処理について

廃棄物をみだりに捨てたり，焼却すると，環境汚染につながり，法令により処罰されることがあります。
廃棄物を処理するときは

* 機械から廃液を抜く場合は，容器に受けてください。
* 地面へのたれ流しや河川，湖沼，海洋への投棄はしないでください。
* 廃油，燃料，冷却水（不凍液），冷媒，溶剤，フィルタ，バッテリ，ゴム類，その他の有害物を廃棄，又は焼却するときは，購入先，又は産業廃棄物処理ください。

1BJABAAAP018A

6. ▲表示ラベルと貼付位置

①品番 60932-4825-1

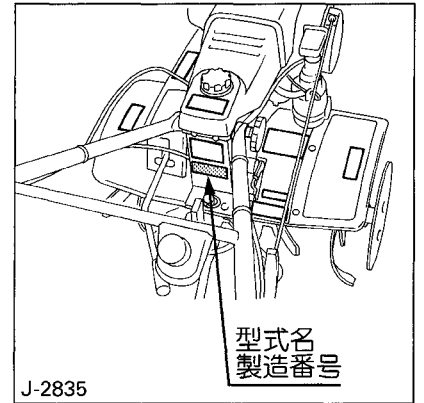
②品番 60932-4821-1

③品番 60802-4828-1

④品番 61592-4833-1

⑤品番 LK121-4822-1

⑥品番 60932-4828-1

⑦品番 61592-4812-1
【TMA4-R仕様】

①品番　LK121-4730-1

7．▲表示ラベルの手入れ

(1)ラベルは，いつもきれいにして傷つけないようにしてください。
もしラベルが汚れている場合は，石鹸水で洗い，やわらかい布で拭いてください。
(2)高圧洗浄機で洗車すると，高圧水によりラベルが剥がれるおそれがあります。高圧水を直接ラベルにかけないでください。
(3)破損や紛失したラベルは，製品購入先に注文し，新しいラベルに貼替えてください。
(4)新しいラベルを貼る場合は，貼付け面の汚れを完全に拭取り，乾いた後，元の位置に貼ってください。
(5)ラベルが貼付けされている部品を新部品と交換するときは，ラベルも同時に交換してください。

サービスと保証について

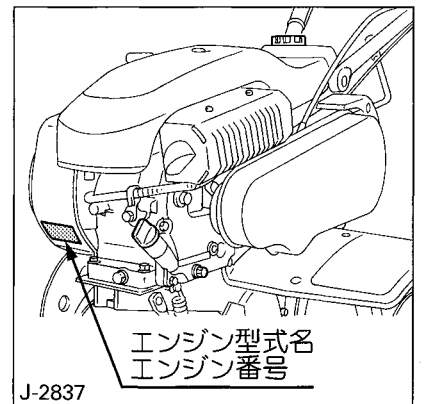
この製品には，保証書が添付してありますのでご使用前によくご覧ください。

■ご相談窓口

ご使用中の故障やご不審な点及びサービスについてのご用命は，お買上げいただいた購入先に，それぞれ"**ご相談窓口**"を設けておりますのでお気軽にご相談ください。
その際　(1)型式名と製造番号
　　　　(2)エンジン型式名とエンジン番号
を併せてご連絡ください。
なお，部品ご注文の際は，購入先に純正部品表を準備しておりますので，そちらでご相談ください。

 警　告

＊機械の改造は危険ですので，改造しないでください。
改造した場合や取扱説明書に述べられた正しい使用目的と異なる場合は，メーカ保証の対象外になるのでご注意ください。

 注　意

＊トレーラ走行はできません。
小型特殊自動車の認定を受けておりません。
一般公道でのトレーラ走行はできません。

◆安全鑑定適合番号
クボタTMA4　……… 22086
クボタTMA4-I ……… 22087
クボタTMA4-S　…… 22088
クボタTMA4-R　…… 22089
クボタTMA4-RS …… 24021

1. もうおぼえられましたか？ ● 各部の名称と装置の取扱い

主クラッチレバー

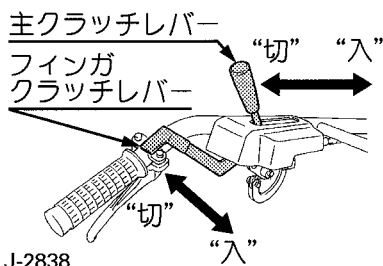
注 意

＊主クラッチの接続はゆっくり行なってください。（特に後進発進時）

【TMA4-H 以外】

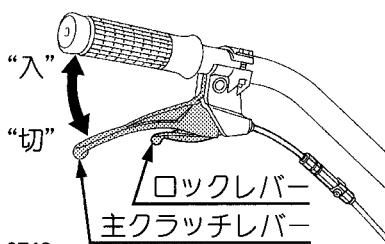
“入”：主クラッチレバーを前に倒すと，主クラッチが**“入”**ります。

“切”：主クラッチレバーを手前に引くと，主クラッチが**“切”**れます。

● 主クラッチレバーとフィンガクラッチレバーは連動していますので，どちらでもクラッチ操作ができます。

J-2838

【TMA4-H】

“入”：レバーを握ると主クラッチが**“入”**ります。一旦クラッチが**“入”**るとロックレバーが作用して、指を離しても戻りません。

“切”：ロックレバーを握り指を離すと、レバーが戻り、主クラッチが**“切”**れます。

J-2719

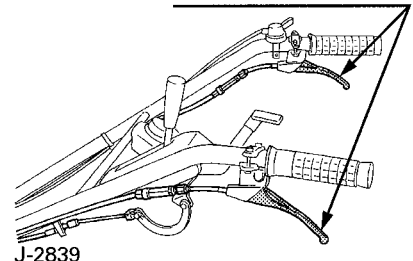
操向クラッチレバー(右・左)

注 意

＊車両への積・降ろし時や坂道では，絶対に操作しないこと。

【TMA4-S・-SL・-RS】

● 右側のレバーを握る
…右側に旋回します。

● 左側のレバーを握る
…左側に旋回します。

J-2839

J-2833

主変速レバー

注 意

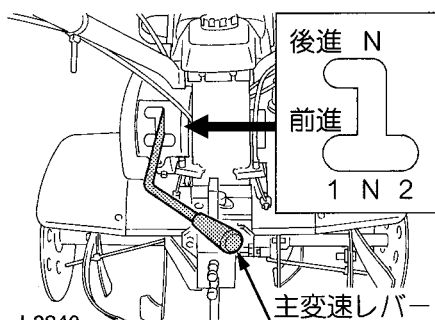
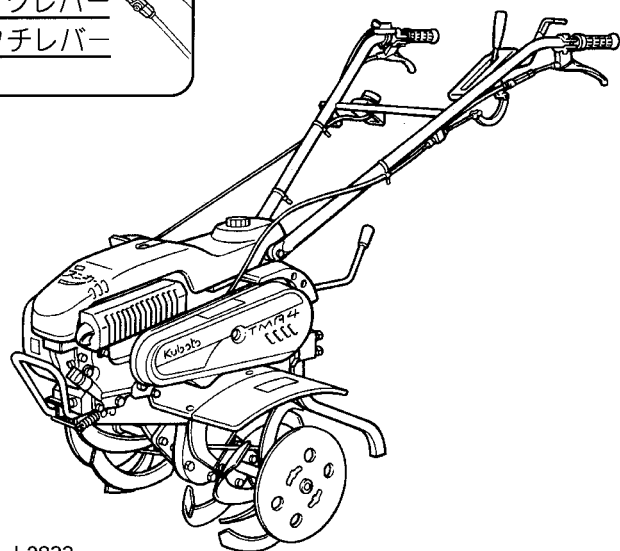
＊変速操作は主クラッチを“切”ってから行なってください。

＊走行中は変速しないこと。

【TMA4-I 以外】

● 前進２段，後進１段に変速できます。
（TMA4-I 仕様は，前進１速のみです）

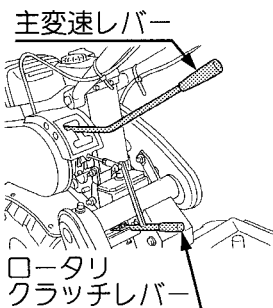
重 要

＊前進・後進に関係なく変速が入りにくい場合は無理をせず，いちど半クラッチにして再度変速操作をしてください。

J-2840

ロータリクラッチレバー

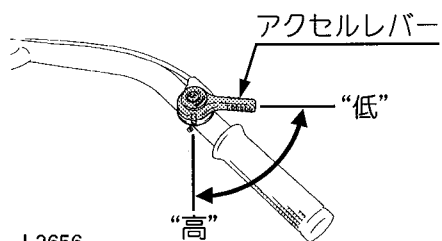
【TMA4-R・-RS】

● ロータリクラッチレバーが**“入”**に入っているときは，けん制装置の作用により，主変速レバーは**“後進”**に入りません。

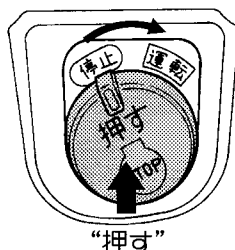
● 主変速レバーが**“後進”**に入っているときもロータリクラッチレバーは**“入”**に入りません。

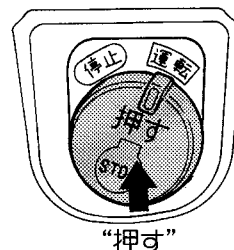
（図はサイドドライブロータリ仕様）

J-2841

アクセルレバー

レバーを**"高"**の方向に回すと，エンジン回転が上がります。

J-2656

エンジンスイッチ

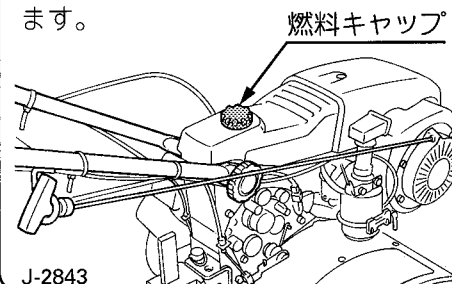
エンジンの運転・停止に用います。

J-2842改

スイッチを押しながら(運転)位置に回します。

スイッチを押すと左に回り(停止)位置に戻ります。

リコイルスタータ

エンジン始動時に使用します。

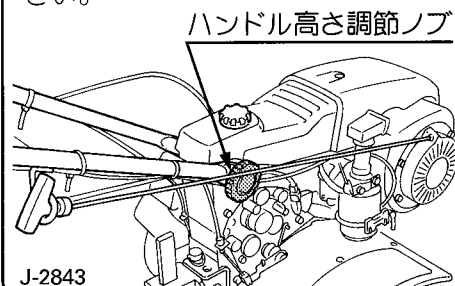
燃料キャップ

自動車用レギュラガソリンを使用します。

J-2843

ハンドル高さ調節ノブ

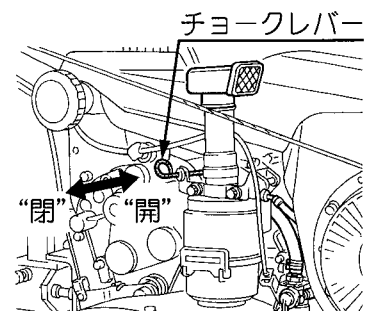
注　意

＊スタンドを立てて行なってください。

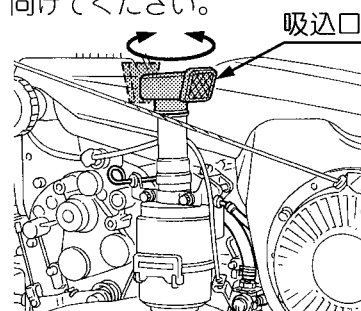
ノブをゆるめて高さを調節してください。

J-2843

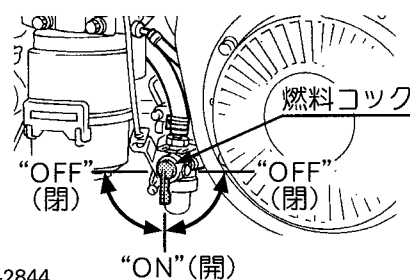
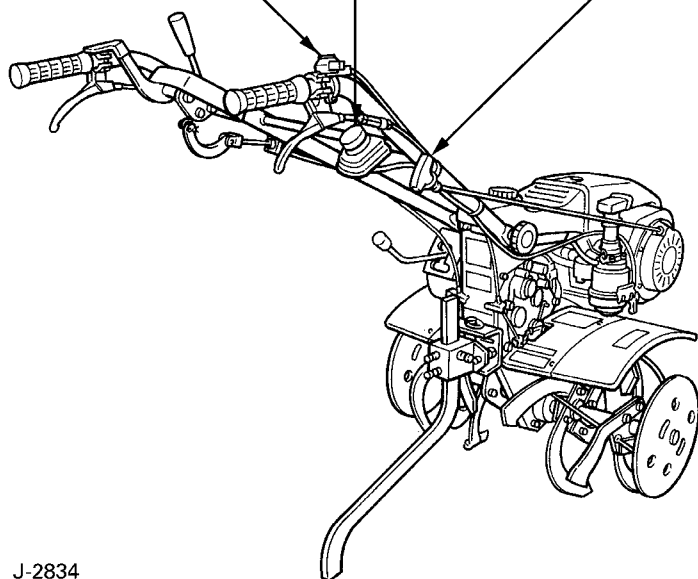
J-2834

チョークレバー

エンジン始動時に使用します。

J-2844

エアークリーナ

ホコリの少ない方向に吸込口を向けてください。

J-2844改

燃料コック

J-2844

2. 作業前にこれだけチェック ● 作業前の点検について

 警　告

＊点検時は前スタンドを立て，機械を安定させてください。
＊点検時はエンジンを停止してください。

調子良く作業するために 〔詳細は“管理機の簡単な手入れと処置”の章参照〕

❶ 燃 料

➡自動車用無鉛ガソリンを補給します。
➡タンク容量……約1.1 L

 警　告

＊ガソリン給油中はエンジン停止・火気厳禁。くわえ煙草での給油はしないでください。
＊ガソリンがこぼれたときはきれいにふき取ってください。

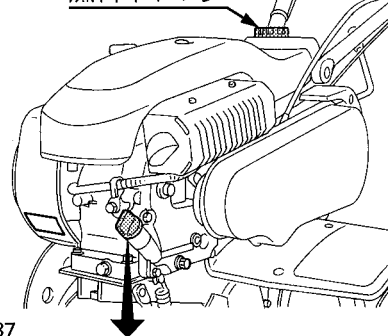
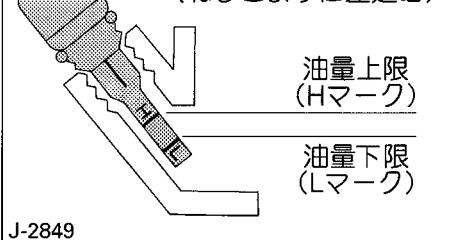
重　要

＊水やゴミを混入しないようにしてください。

J-2837

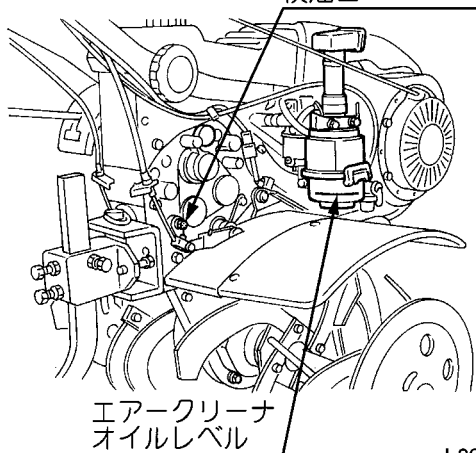
J-2849

❷ エンジンオイル

➡エンジンを水平にして，レベルゲージで規定量あるか点検します。
➡不足している場合は，クボタ純オイルを補充します。
(夏……G30　冬……G20)

❸ ミッションオイル

➡スタンドを立てるか，抵抗棒又は作業機を取付けて機体を安定させた状態で，検油口まであるか点検します。
➡不足している場合は，クボタ純オイルを補充します。(M80B又はM90)

❹ エアークリーナ

➡オイルパンの規定線までオイルがあるか点検します。
➡不足している場合は，エンジンオイルを補充します。
➡エアークリーナエレメントにゴミが付着していないか点検します。

J-2845

❺ タイヤ

➡空気が抜けていないか，また損傷がないか点検します。

❻ 各ケーブル

➡ケーブル注油部より，エンジンオイルを注油します。

❼ その他

➡エンジン，ミッションなどから油もれがないか点検します。
➡各しゅう動部へエンジンオイルを注油します。
➡各部の損傷及びボルト・ナットのゆるみがないか点検します。

安全に作業するために

❶ 主クラッチ

❷ 操向クラッチ

➡クラッチの“**入・切**”が確実に行なえるか点検します。
➡不良の場合は調整・注油します。

❸ 主変速レバー

➡変速が案内板の表示位置で確実に行なえるか点検します。

❹ 電気配線

➡被覆が溶けたり破れていないか，また配線がはさまれていないか点検します。

❺ エンジン周辺部

➡ファンカバーやマフラカバー内にゴミやワラクズの付着がないか点検します。

❻ ガソリン漏れ

➡タンクや燃料パイプからガソリン漏れがないか点検します。
➡自動車用無鉛ガソリンを補給します。
➡タンク容量……約1.1 L

3. このように運転します　●上手な運転のしかた

ならし運転（最初の10時間程度使用まで）

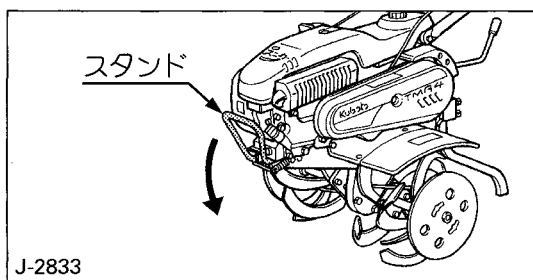
この期間中は各部になじみをつけるため，エンジンを高速回転させたり，過酷な使用は避け，無理をさせないようにしましょう。

エンジンの始動のしかた

注　意

＊エンジンを始動するときは，主クラッチレバー，ロータリクラッチレバー（ロータリ付）を必ず"切"にしてください。
＊エンジン運転中，マフラに手を触れないでください。
＊マフラの排気方向に，燃えやすいものがないか確認してください。
＊リコイルスタータの引張る方向に人がいないか，突起物・障害物がないか確かめてください。

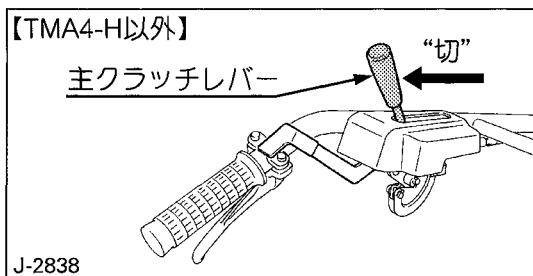
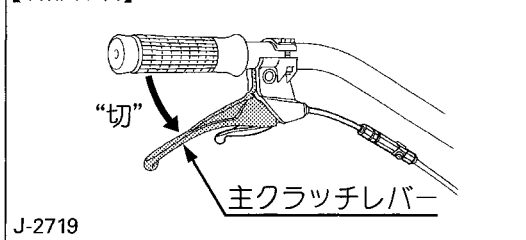
❶スタンドを立てます。

J-2833

❷主クラッチレバーを必ず**"切"**にします。

補　足

＊主クラッチレバーが**"入"**では始動けん制装置が作動してエンジンは始動しません。

J-2838

J-2719

❸主変速レバーをN：**"中立"**にします。

レバー位置は下図●位置にします。

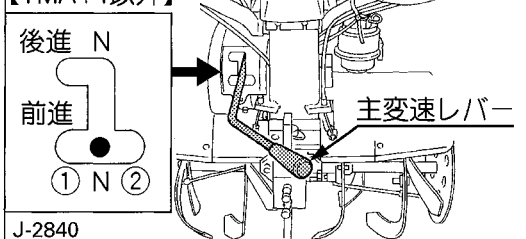
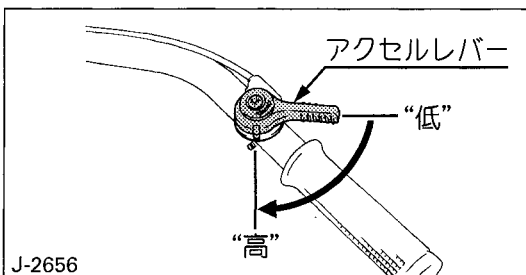
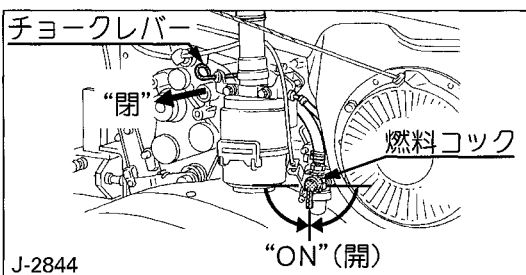
J-2840

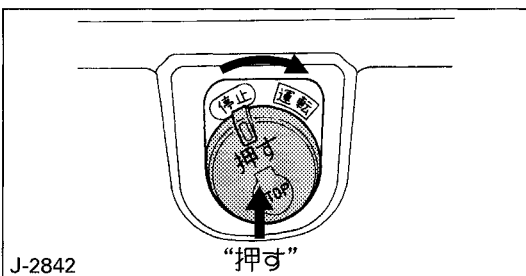
❹アクセルレバーを**"高"**にします。

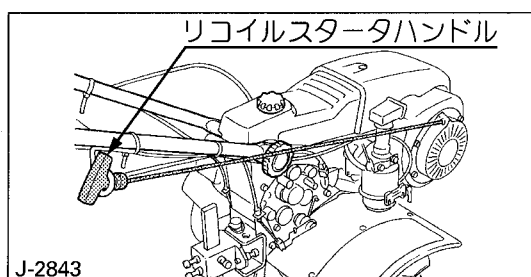
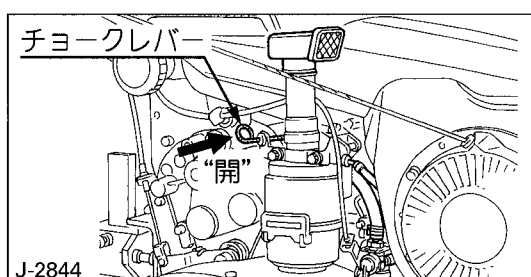
J-2656

❺燃料コックを**"ON"（開）**にします。

❻チョークレバーを引き**"閉"**にします。

J-2844

❼エンジンスイッチを押しながら**"運転"**位置まで回します。

J-2842

❽リコイルスタータハンドルを握って，勢いよく引張ります。

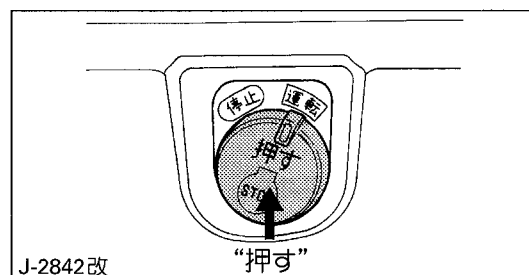
エンジンが始動したら，リコイルスタータハンドルを静かに元に戻してください。

❾エンジンの調子を見ながら，チョークレバーを徐々に戻します。（開く）

重　要

＊アクセルレバーを**"低"**に戻し，２～３分暖機運転を行なってから，作業を始めてください。

停止のしかた

注　意

＊エンジン停止後は，しばらくマフラが熱くなっていますから，手を触れないでください。

❶主クラッチレバーを**"切"**にします。
❷アクセルレバーを**"低"**にします。
❸エンジンスイッチを押すと左に回り**"停止"**位置に戻り，エンジンが停止します。

❹燃料コックを**"OFF"（閉）**にします。

重　要

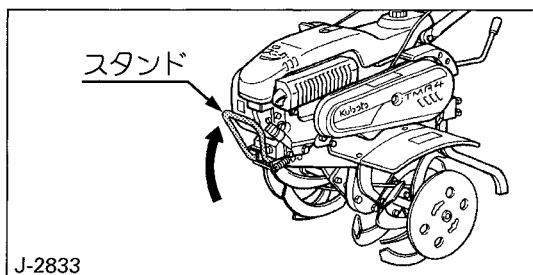
＊コックを開いた状態で保管したり，前に倒したり，また車両で運搬すると，エンジン始動が困難となることがあります。

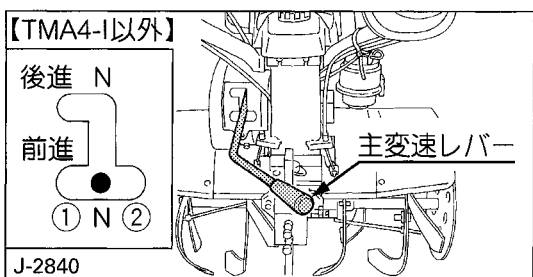
発進のしかた

警告

＊特に後進するときは，ハンドルが持上がるので，主クラッチの接続はゆっくり行なってください。
＊ロータ装着時は後進禁止

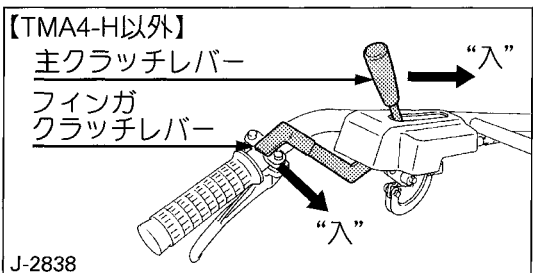
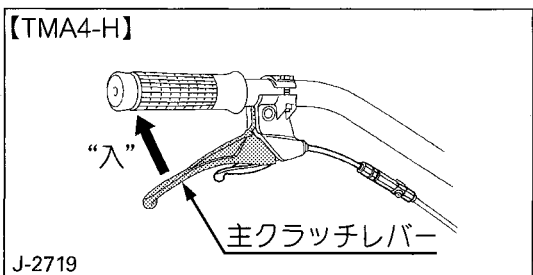
❶スタンドを上げます。

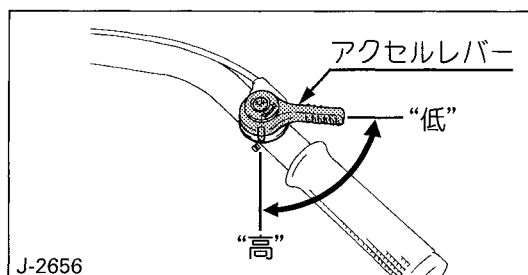
J-2833

❷主変速レバーを希望の変速位置に入れます。

J-2840

❸主クラッチレバーを**"入"**にすると発進します。

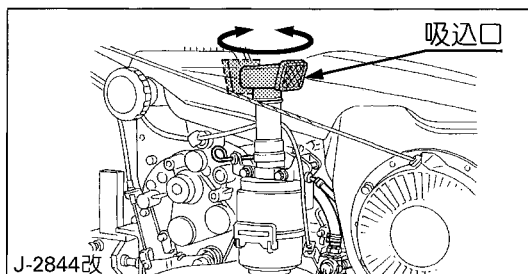
主クラッチレバーはゆっくり操作してください。また，フィンガクラッチレバー方式の場合は左手親指で下に押せば，ハンドルを握ったまま主クラッチが入ります。

J-2719

J-2838

❹アクセルレバーを操作して速度を調節します。

J-2656

エアークリーナの調節

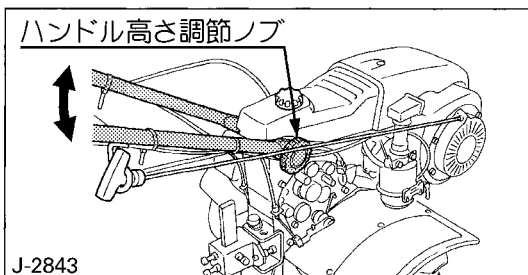
エアークリーナの吸込口が回動します。
作業に応じ，チリやホコリの少ない方に吸込口の向きを変えてください。

J-2844改

ハンドル高さの調節

注意

＊平坦な場所にスタンドを立てて行なってください。

ハンドル高さ調節ノブを4～5回転ゆるめて，高さを調節してください。
ハンドルがガタつく場合は，六角部分をスパナで締付けてください。

J-2843

4. こんなときどうする？　●管理機の簡単な手入れと処置

 注　意

＊給排油・点検・調節・清掃は必ずエンジンを停止して行なってください。

＊スタンドを立てるか，抵抗棒又は作業機を取付けて機体を安定させて行なってください。

■廃棄物の処理について

 注　意

廃棄物をみだりに捨てたり，焼却すると，環境汚染につながり，法令により処罰されることがあります。

廃棄物を処理するときは

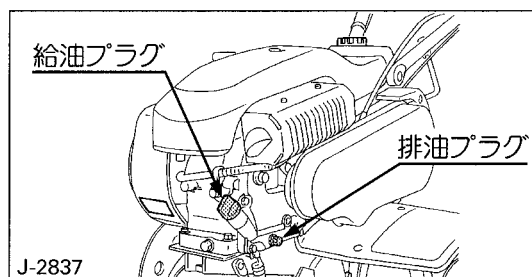
＊機械から廃液を抜く場合は，容器に受けてください。

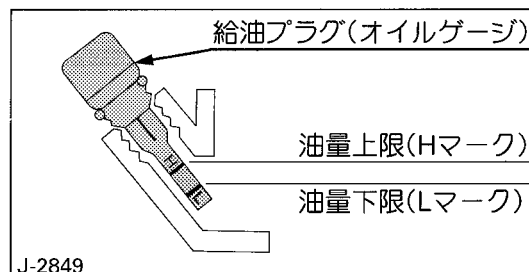
＊地面へのたれ流しや河川，湖沼，海洋への投棄はしないでください。

＊廃油，燃料，冷却水(不凍液)，冷媒，溶剤，フィルタ，バッテリ，ゴム類，その他の有害物を廃棄，又は焼却するときは，購入先，又は産業廃棄物処理業者などに相談して，所定の規則に従って処理してください。

エンジンオイルの交換

■排油のしかた

スタンドを立てるか，抵抗棒又は作業機を取付けて機体を安定させ，排油プラグを取外し，排出してください。

■給油のしかた

前スタンドを立てて，エンジンを水平にしてオイルを注入します。オイルゲージをねじこまずに差込み，油面の高さを点検します。

交　換		オイル量	オイルの種類
第1回目	以　後		
25時間使用後	100時間使用ごと	0.6L	クボタ純オイル (ガソリン，エンジン用) 冬G20，夏G30

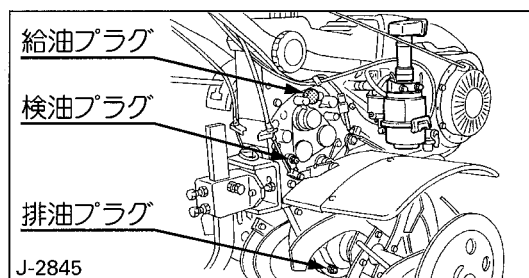
ミッションオイルの交換

■排油のしかた

排油プラグと給油プラグを取外し，できるだけ機体を後に傾けるようにして排油してください。

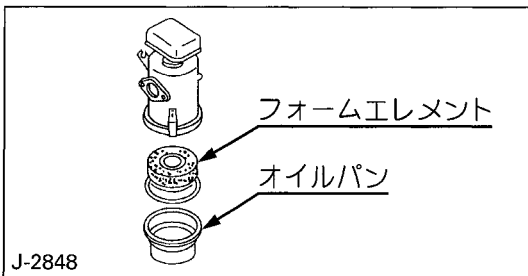
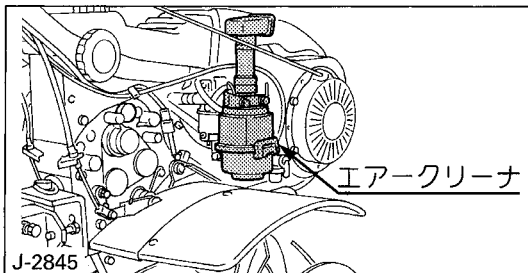
■給油のしかた

スタンドを立てるか，抵抗棒又は作業機を取付けて機体を安定させ，検油プラグまで給油してください。

交　換		オイル量	オイルの種類
第1回目	以　後		
25時間使用後	100時間使用ごと	1.3L	クボタ純オイル M90又は，M80B (ミッション用)

エアークリーナエレメントの清掃とオイル交換

❶フォームエレメント
- 石鹸液で洗浄後水洗し，充分乾かします。
- 新しいエンジンオイルにエレメントを浸し，これを手で握って固く絞り余分なオイルを振りおとします。

❷オイルパンはよく洗浄し，新しいガソリンエンジンオイルを規定量入れてください。

＊規定量…OIL LEVELと記載されているところ

重　要

＊汚れたまま使用しますと，エンジンの出力低下や故障の原因になります。

エレメント	清掃	通　常	50時間ごと
		ホコリの多い場合	毎　日
	交換	汚れがひどいとき	

オイル交換	通常50時間使用ごと

＊チリやホコリが多く発生する土入れ作業などで使用する場合は，

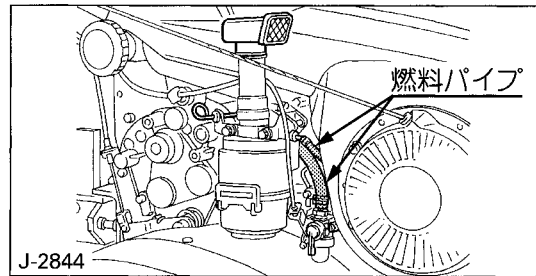
❶ホコリの少ない方向にエアークリーナ吸込口を向けてください。

❷毎日点検してください。

燃料パイプの交換

警　告

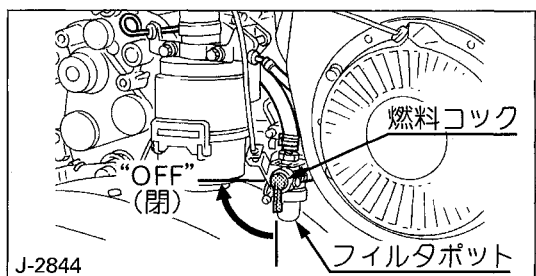
＊燃料パイプは自然劣化したり傷があると，ガソリン漏れして火災の原因となります。ヒビや割れが発生したものは新しい燃料パイプと交換してください。

交　　換	2年間ごと

燃料フィルタの清掃

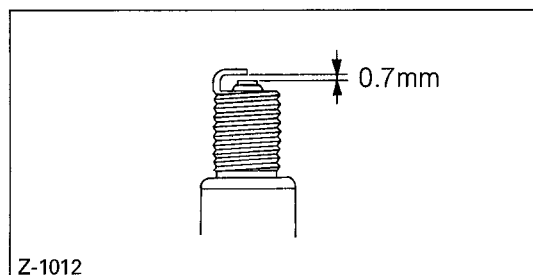
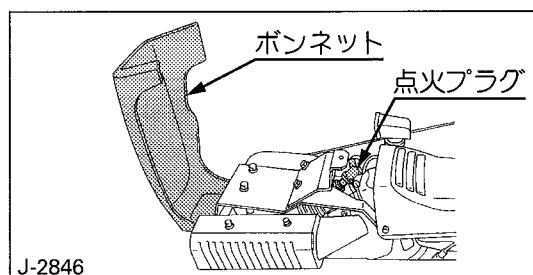
注　意

＊取付け後ガソリン漏れがないか確認してください。

燃料コックを“OFF”(閉)にし，フィルタポットとフィルタエレメントを取外して，フィルタポットとフィルタエレメントを清掃してください。

清　　掃	50時間使用ごと
交　　換	汚れがひどいとき

点火プラグの調整・清掃・交換

❶ボンネット締付ボルトをゆるめて，ボンネットを開きます。
❷プラグ用ボックススパナでプラグを外してカーボンを清掃します。（ボックススパナ21）
❸電極のすきまが0.7㎜になるように調節してください。

調　　節	50時間使用ごと
点火プラグ	NGK BP5ES又はBPR5ES

重　要
＊締付け時は，ネジ山をつぶさないよう，はじめ手で締込んでから，ボックススパナで締付けてください。
＊調節・清掃してもエンジンが不調のときは，新しいプラグと交換してください。

主クラッチケーブルの調節

注　意
＊ベルト調節を行なう場合は，必ずエンジンを停止して行なってください。
＊調節が終わったら必ずベルトカバーを取付けてください。

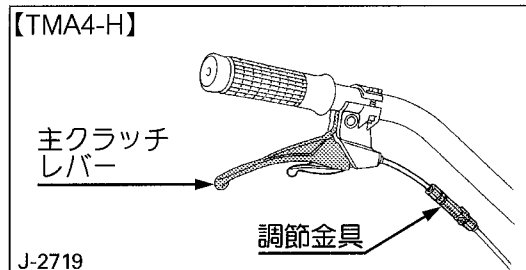
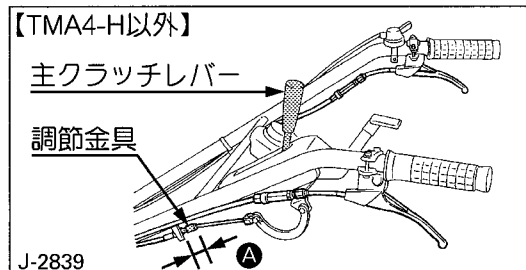
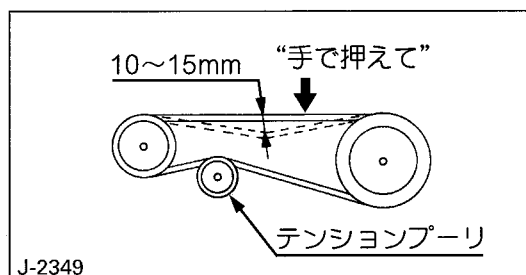
■主クラッチケーブルによる調節

主クラッチレバーを入れた状態でベルトの中央部を指で押えて10㎜～15㎜たわむ程度に調節金具でテンションプーリを調節してください。なお，使用初期はベルトが伸びやすいため，10時間使用後調節金具を調節してください。

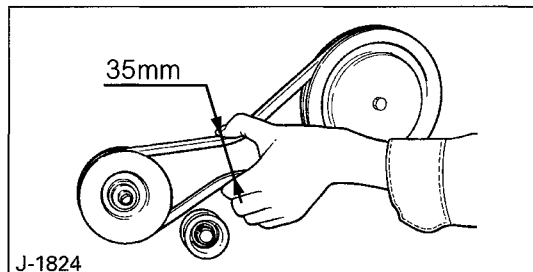
【TMA4-H以外】

ベルトがスリップする場合	調節金具のⒶ部を短くする。
クラッチが切れないとき	調節金具のⒶ部を長くする。

【TMA4-H】

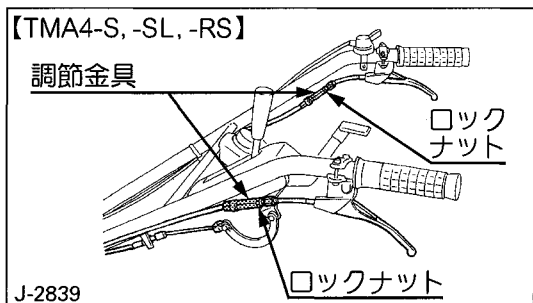
ベルトがスリップする場合	調節金具を長くする。
クラッチが切れないとき	調節金具を短くする。

重　要
＊主クラッチケーブルを調節した場合，エンジンを始動してクラッチの“**入・切**”が確実に作動するか確認してください。

新しいベルトに交換する場合

新しいベルトに交換する場合は，ベルト中央部を指ではさんですき間を約35㎜ぐらいにして，エンジン固定ボルトを締付けてください。

操向クラッチケーブルの調節

操向クラッチレバーを握っても操向クラッチが切れにくい場合，又操向クラッチレバーを離しても入りにくい場合は，調節金具で調節します。

操向クラッチ	調節金具
切れにくい場合	長くする
入りにくい場合	短くする

調節後は，調節金具のロックナットを確実に締付けてください。

タイヤの空気圧

空気圧が高すぎても低すぎても，タイヤの寿命を縮めますから，定期的に空気圧を調べ，適正になるように調節してください。

適正空気圧	1. 2～1. 4kgf/㎠(120～140kPa)

空気を入れるには，エアーコンプレッサ，又は自動車などのタイヤに空気を入れる高圧手押しポンプを用いてください。

 警　告

＊タイヤの空気圧は，取扱説明書に記載している規定圧力を，必ず守ってください。空気の入れ過ぎは，タイヤ破裂のおそれがあり，死傷事故を引き起こす原因になります。

＊タイヤに傷があり，その傷がコード(糸)に達している場合は，使用しないでください。タイヤ破裂のおそれがあります。

＊タイヤ，チューブ，リムなどの交換，修理は，必ず購入先にご相談ください。
(特別教育を受けた人が行なうように，法で決められています。)

ロータリ後進けん制装置の点検・調節(アタッチメント採用)

警 告

＊後進けん制装置の解除は行なわないこと。

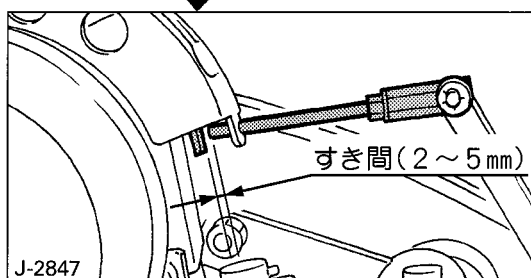
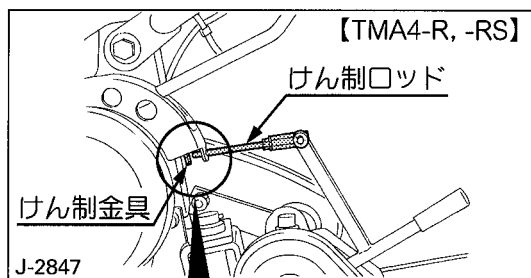
注 意

＊調節後は，調節金具のロックナットを確実に締付けてください。
＊調節が終ったら，主変速レバーを“中立”，ロータリクラッチレバーを“切”に戻してください。

■点検

❶主変速レバーが**“後進”**時，ロータリクラッチレバーが**“入”**に変速できないことを確認する。
❷ロータリクラッチレバーが**“入”**時，主変速レバーが**“後進”**に変速できないことを確認する。
❸主変速レバーが**“前進1又は2速”**時，ロータリクラッチレバーが**“入”**に変速できることを確認する。
もし，上記❶〜❸のいづれかが不良の場合，下記要領に基づき調節し，再度上記けん制が確実に作用するか確認してください。

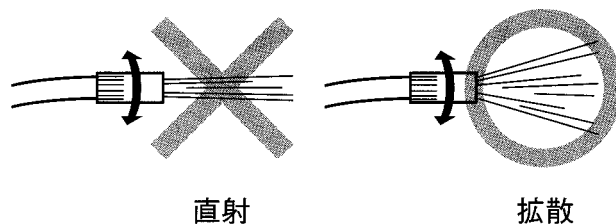
■調節要領

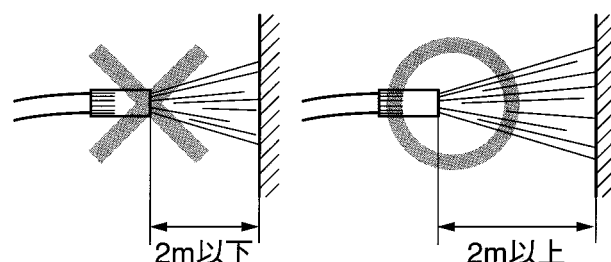
主変速レバーを後進側の**“N”(中立)**にして，けん制ロッドとけん制金具のすき間が2〜5㎜の範囲内で，後進操作ができるよう調節します。

洗車時の注意

高圧洗車機の使用方法を誤ると人を怪我させたり，機械を破損・損傷・故障させることがありますので，高圧洗車機の取扱説明書・ラベルに従って，正しく使用してください。

注 意

＊機械を損傷させないように洗浄ノズルを拡散にし，2m以上離して洗車してください。
もし，直射にしたり，不適切に近距離から洗車すると，
1. 電気配線部被覆の損傷・断線により，火災を引き起こすおそれがあります。
2. 油圧ホースの破損により，高圧の油が噴出して傷害を負うおそれがあります。
3. 機械の破損・損傷・故障の原因になります。
例)(1)シール・ラベルの剥がれ
(2)電子部品，エンジン・トランスミッション室内，安全キャブ室内等への浸入による故障
(3)タイヤ，オイルシール等のゴム類，樹脂類，ガラス等の破損
(4)塗装，メッキ面の皮膜剥がれ

直射洗車厳禁

1AGACBRAP067A

近距離洗車厳禁

1AGACBRAP068A

5. 作業が終わったら

使用後の手入れ

使用後は，必ずその日のうちに清掃を行ない，各部に付いている土やゴミを落とし，各しゅう動部はさびないよう油を塗布してください。

重 要

＊水洗いのとき，エアークリーナ吸込口から水が入らないようにカバーをしてください。

エンジン始動不良を防ぐために

エンジン停止後，必ず燃料コックを閉めてください。

重 要

＊燃料コックを開いたままの状態で，保管したり，前に倒したり，また車両で運搬したりすると，エンジン始動が困難となる場合があります。また，クランクケース内へガソリンが流入することもあります。

保 管

 注 意

＊カバーをかけたり，納屋に格納するときは火災の危険があるため，エンジンが冷えてからにしてください。

(1)主クラッチレバーは**"切"**の位置にして，保管します。
(2)エンジンのシリンダ内に湿気が入って，始動が困難になるのを防止するためリコイルスタータハンドルを引張って，圧縮位置で止めておきます。
(3)燃料タンク・キャブレター・フィルタポットの中のガソリンは全て抜取ります。（1ヵ月以上使用しないとき）
(4)カバーをかけて湿気や太陽光線の少ない場所に保管してください。

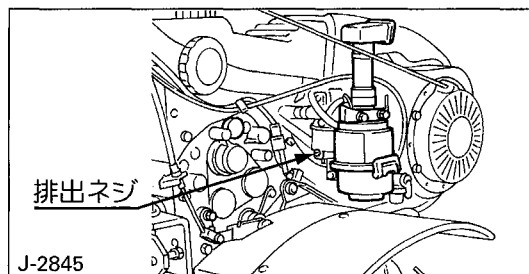
重 要

＊ほ場(田，畑)に保管していると，地面からの湿気により，車体等の錆びる原因となります。

燃料の抜取り

 警 告

＊燃料がこぼれたときは，きれいにふき取ってください。

1ヵ月以上使用しないとき，燃料タンク内のガソリンはポンプなどを使用して抜取り，キャブレター内は排出ネジをゆるめて，フィルタポットは外して全部抜取ってください。

重 要

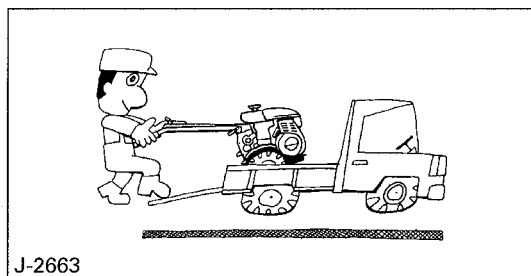
＊燃料をそのままにしておくと，燃料タンクやキャブレター内のガソリンが腐って，次の始動が困難になります。

6. 管理機を運搬するとき

自動車(トラック)への積込み，運搬

 注 意

＊あゆみ板は，丈夫なすべり止めのあるものを使用してください。
＊途中で，主クラッチは絶対に切らないでください。
＊登りは“前進”，下りは“後進”で行なってください。
＊トラックは，荷台に天井が無い車を使用してください。
＊車軸にロータ爪や鉄車輪を装着しての走行は危険です。タイヤに交換してください。
＊ロータを装着して，あゆみ板の上り，下りは危険です。絶対にしないでください。

(1)トラックを平たんな場所に止め，駐車ブレーキを掛けます。
(2)あゆみ板を荷台に確実に固定します。
(3)ロータを装着しているときは，移動輪，または突起の小さい車輪と交換して行なってください。
(4)上り，下りは最低速で走行します。
主変速レバーは，低速に入れ，また主クラッチレバーも“**入**”にしておきます。**【TMA4-I 以外】**
(4)上り，下りはエンジンを停止して，主クラッチレバーは“**切**”で行ないます。**【TMA4-I 】**
(5)機体は荷台にロープで確実に固定します。
(6)機体にロープを掛けるときは，後ヒッチ・車輪・前スタンド・ハンドル部2ヵ所を固定してください。
(7)燃料コックは“**OFF**”(**閉**)にします。
(8)雨天時には，エアークリーナの吸込口にカバーをかぶせてください。

J-2663

重 要

＊ロープを掛けるとき，変速レバーや樹脂カバー，小物部品にロープが触れないように気を付けてください。
破損したり機能が損なわれる恐れがあります。
＊エアークリーナの吸込口にカバーをかぶせないで運搬すると，雨水や砂ホコリが入りエアークリーナ性能が低下します。
＊燃料コックを“**開**”いたまま運搬すると，キャブレター内でガソリンがオーバフローし，エンジン始動が困難となります。またクランクケース内にガソリンが流入することもあります。

7. 付　記

● 主要諸元・車軸回転数一覧表・標準付属品・主な消耗部品一覧表

■主要諸元

型式名	TMA4			TMA4-S		TMA4-I	TMA4-R	TMA4-RS
区分	-(X)	H	L	SL	-(XS)	―	-(XR)	-(XRS)
機体寸法 全長 (mm)	1390						1450	
機体寸法 全幅 (mm)	580		520		580		605	
機体寸法 全高 (mm)	900						910	
質量(ロータ、車輪なし)(kg)	38			39		38	39	40
エンジン 呼称	クボタGH1200-T-2(X仕様はクボタGH1200-T-3)							
エンジン 型式名	FE120G							
エンジン 種類	空冷4サイクルガソリンエンジン(OHV)							
エンジン 総排気量 (cm^3)	124							
エンジン 定格出力/定格回転数 kW / min^{-1} (PS / rpm)	2. 3/1650 (3. 1/1650)							
エンジン 最大出力 (kW(PS))	3. 0 (4. 2)							
エンジン 使用燃料	自動車用レギュラーガソリン(無鉛)							
エンジン 燃料タンク容量 (L)	1. 1							
エンジン 始動方式	リコイルスタータ(X, XS, XR, XRSは防じんカバー付)							
主クラッチ方式	ベルトテンション							
操向クラッチ方式	―			ボール式		―		ボール式
変速段数 主変速 前進	2段					1段	2段	
変速段数 主変速 後進	1段					―	1段	
タイヤ	―						3.50-5またはゴムラグ車輪	
車軸形状 (径 mm)	六角(対辺23)							
PTO軸回転数 (min^{-1}(rpm))	―						990	

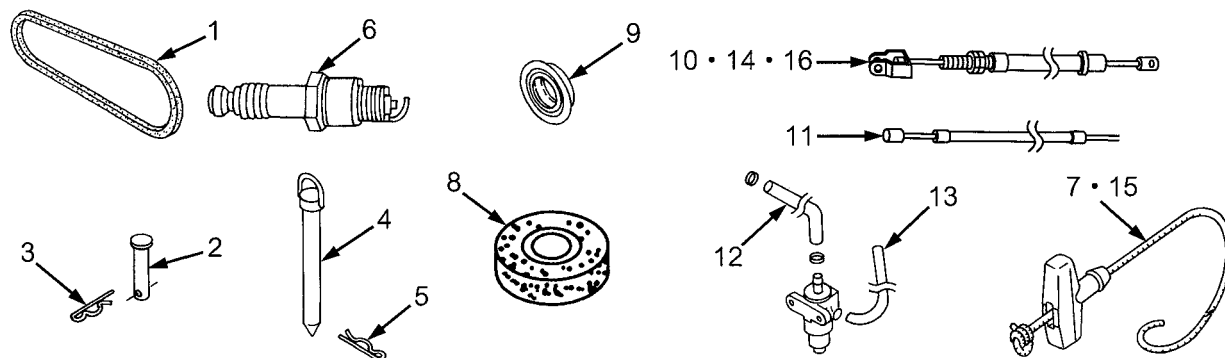
■車軸回転数一覧表

変速		車軸回転数 min^{-1}(rpm)		
		TMA4(X)・4-S(XS)	TMA4-I	TMA4-R(XR)・TMA4-RS(XRS)
前進	1	71	117	33
	2	135	–	51
後進	1	23	–	11

■標準付属品

品名	数量／台	備考
プラグボックス	1	
取扱説明書	1	
保証書	1	

● TMA4-R・-RS(ロータリ仕様)は車軸でのロータ作業はできません。

■主な消耗部品一覧表

図番	品　番	品　名	個数	適用機種											
				TMA4	-S	-Ⅰ	-R	-RS	-L	-SL	-H	-X	-XS	-XR	-XRS
1	LK121-6221-0	Vベルト(特B37)	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
2	61041-1717-0	車軸ピン	4	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3	05516-50800	スナップピン	4	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
4	61232-5213-0	ヒッチピン	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
5	05515-51600	スナップピン	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6	E3199-2523-0	スパークプラグ	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
7	E2189-4219-0	ロープ	1	○	○	○	○	○	○	○	○				
8	E3199-3618-0	フォームエレメント	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
9	61191-1715-0	オイルシール	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
10	LK121-4224-0	ケーブル(主クラッチ)	1	○	○	○			○	○		○	○		
10	LK131-4224-0	ケーブル(主クラッチ)	1				○	○						○	○
10	LK126-4224-0	ケーブル(主クラッチ)	1								○				
11	LK121-4292-0	ケーブル (スロットル)	1	○	○	○			○	○	○	○	○		
11	LK131-4292-0	ケーブル (スロットル)	1				○	○						○	○
12	09661-60260	フューエルチューブ	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
13	E2199-3924-0	フューエルチューブ	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
14	LK122-4322-0	ケーブル(サイドクラッチ)	2		○					○			○		
15	E2169-4218-0	ロープ	1									○	○	○	○
16	LK132-4322-0	ケーブル(サイドクラッチ)	2					○							○

8. トラブルと処置

■エンジンが始動しないとき

原因		処置
●始動の手順が間違っている	➡	正しい順序で始動する。(8ページ参照)
●タンクにガソリンを入れたまま1ヵ月以上保管しガソリンが腐った。	➡	タンク・キャブレター内の腐ったガソリンを排出し，新しいガソリンを入れる。
●フィルタポットに水やゴミが混入している。	➡	ポットを外してフィルタエレメントを清掃する。 または新しい物と交換する。 キャブレター内のガソリンも排出する。
●チョークを引いた(閉じた)状態でリコイルを何回も引過ぎガソリンを吸いすぎた。	➡	チョークを戻し(開き)リコイルを引くか，点火プラグを外して乾燥させる。
●エンジン停止後，燃料コックを閉じないで本機を前に倒したり，車両で運搬したためキャブレターがオーバフローした。	➡	クランクケース内にガソリンが混入していたら新しいエンジンオイルと交換する。
●エアークリーナエレメントが目詰まりしている。	➡	エレメントを外して清掃する。 または新しい物と交換する。
●点火プラグの火花が弱い，飛ばない。	➡	点火プラグを外して付着したカーボンを清掃する。 または，新しい物と交換する。

■エンジンの回転が上がらない，不安定，出力が不足するとき

原因		処置
●エンジンが暖まってもチョークを引いた(閉じる)まま運転している。	➡	チョークを戻す(開く)。
●フィルタポットに水やゴミが混入している。	➡	ポットを外して清掃する。 キャブレター内のガソリンも排出する。
●エアークリーナエレメントが汚れている。	➡	エレメントを外して清掃する。
●アクセルケーブルの引張りが不足している。	➡	ケーブルのセット位置を調節する。

■エンジンが振れる，異音が発生する

原因		処置
●エンジン取付けボルトがゆるんでいる。	➡	取付けボルトを締付ける。

上記の処置をしてもトラブルが直らないときは，購入先にご相談ください。

補修用部品の供給年限について

この製品の補修用部品の供給年限（期間）は製造打ち切り後９年といたします。
ただし、供給年限内であっても特殊部品につきましては、納期等についてご相談させていただく場合もあります。
補修用部品の供給は原則的には上記の供給年限で終了いたしますが、供給年限経過後であっても部品供給のご要請があった場合には、納期及び価格についてご相談させていただきます。

純正部品を使いましょう

補修用部品は、安心してご使用いただける純正部品をお買い求めください。
市販類似品をお使いになりますと機械の不調や、機械の寿命を短くする原因になります。

純正アタッチメントを使いましょう

純正アタッチメントは一番よくマッチするように研究され、徹底した品質管理のもとで生産・出荷していますので、安心して使っていただけます。
市販類似品をお使いになりますと、作業能率の低下や機械の寿命を短くする原因となります。

TMA4
AI . L . 6 - 10 . 30 . AK

株式会社クボタ

クボタ機械サービス株式会社

北海道営業技術推進部：電(011)662-2121　〒063-0061　札幌市西区西町北16丁目１番１号
秋田営業技術推進部：電(018)845-1644　〒011-0901　秋田市寺内字大小路207-54
仙台営業技術推進部：電(022)384-5162　〒981-1221　名取市田高字原182番地の１
東京営業技術推進部：電(048)862-1588　〒338-0832　さいたま市桜区西堀５丁目２番36号
新潟営業技術推進部：電(025)285-1263　〒950-0992　新潟市上所上１丁目14番15号
金沢営業技術推進部：電(076)275-1121　〒924-0038　松任市下柏野町956-１
名古屋営業技術推進部：電(0586)24-5111　〒491-0031　一宮市観音町１番地の１
大阪営業技術推進部：電(06)6470-5860　〒661-8567　尼崎市浜１丁目１番１号
岡山営業技術推進部：電(086)279-4511　〒703-8216　岡山市宍甘275番地
米子営業技術推進部：電(0859)33-5011　〒683-0804　米子市米原７丁目１番１号
株式会社四国クボタ 営業技術課：電(087)874-8500　〒769-0102　香川県綾歌郡国分寺町国分字向647-３
福岡営業技術推進部：電(092)606-3725　〒811-0213　福岡市東区和白丘１丁目７番３号
熊本営業技術推進部：電(096)357-6181　〒861-4147　熊本県下益城郡富合町大字廻江846-１
本社営業技術部：電(072)241-8092　〒590-0823　堺市石津北町64番地

株式会社クボタ

機械札幌事務所：電(011)662-2121　〒063-0061　札幌市西区西町北16丁目１番１号
機械東日本事務所：電(048)862-1121　〒338-0832　さいたま市桜区西堀５丁目２番36号
機械西日本事務所：電(06)6470-5970　〒661-8567　尼崎市浜１丁目１番１号
機械福岡事務所：電(092)606-3161　〒811-0213　福岡市東区和白丘１丁目７番３号

品番　LK121 − 6512 − 1